

6月28日(土) 第64回総会 あなたに会えるね

中村幸夫さん (77期) が講演

演題：細胞培養の歴史と医学医療への貢献

関東同窓会では、6月28日(土)、東京都千代田区一ツ橋の如水会館で第64回総会を開催します。当日は、中村幸夫さん(77期)の講演に続いて総会、アトラクションは須藤英樹さん(77期)による演奏を楽しんでいただきます。それから、立食形式での懇親会となります。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

アトラクション 須藤英樹さん (77期) の J-POP 演奏



中村幸夫さん

講師の中村さんは、上野に臨床医として勤務し始め、その後、基礎医学研究分野に転じて、2003年に理研バイオリソース研究センター(BRC)細胞材料開発室の室長に就任されました。さらに、筑波大学医学医療系教授、同グローバル教育院教授を歴任後、25年4月から臨床医に復帰されました。専門は血液学研究で、理研BRCでは赤血球の人工生産を目指した研究のほか、京都大学・山中伸弥教授がノーベル賞を受賞したことで有名なiPS細胞を含め、さまざまな培養細胞を用いた基礎研究に従事されました。今回の講演では、細胞培養の歴史から始まって、細胞培養技術の活用を通じた臨床分野への応用までお話しいただく予定です。

110号記念号



須藤英樹さん



天音ともさん

講師の中村さんは、上野に臨床医として勤務し始め、その後、基礎医学研究分野に転じて、2003年に理研バイオリソース研究センター(BRC)細胞材料開発室の室長に就任されました。さらに、筑波大学医学医療系教授、同グローバル教育院教授を歴任後、25年4月から臨床医に復帰されました。専門は血液学研究で、理研BRCでは赤血球の人工生産を目指した研究のほか、京都大学・山中伸弥教授がノーベル賞を受賞したことで有名なiPS細胞を含め、さまざまな培養細胞を用いた基礎研究に従事されました。今回の講演では、細胞培養の歴史から始まって、細胞培養技術の活用を通じた臨床分野への応用までお話しいただく予定です。

第64回総会

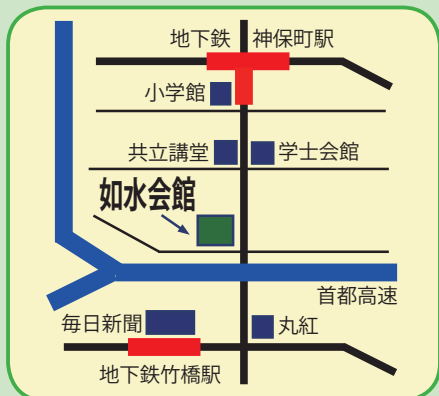
- 【日時】 2025年6月28日(土)
11:00 受け付け開始
12:00~16:30 講演会、総会、演奏会、懇親会
- 【会場】 千代田区一ツ橋 2-1-1 如水会館 ☎03-3261-1101
- 【会費】 8,000円(102期以降は6,000円)、学生は無料
- 【交通】 ▶地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線の神保町駅下車 A8、A9出口 徒歩4分
▶地下鉄東西線の竹橋駅下車 1b出口 徒歩4分

出欠連絡はハガキの他にオンラインでも可能です

以下のURL、もしくは右のQRコードから入力フォームにアクセスしてください

<https://forms.gle/LLHEuUyA7RMCKDfc6>

※実行委員、執行部が撮影した写真はHP、会報に使用します



会報「うえだ」に思いを寄せて

関東同窓会会長 矢島基美 (72期)



矢島基美会長 (新年会で)

れ、それをクリックすると、すべての号がアップされます。そのバックナンバーを通覧すると、会報を発刊し、連綿とこれに携わってこられた諸先輩の思いの丈が伝わってきます。

上田高等学校関東同窓会の活動において主軸をなす総会が本年もまた、6月最終土曜日に開催されます。それに先んじて、本会の会報「うえだ」をお届けするところとなりました。このたびの会報も、意趣に富んださまざまな記事や情報が盛り込まれ、皆様にはそれぞれにお楽しみいただけるものと思います。

さて、その会報を手になされて、いつものものとは何やら違う、そんな感想を抱かれたかもしれませぬ。そのようにお感じになったとすると、これを発行する側の一人として、とても嬉しく思います。企画・編集の段階から、これが第110号にあたることを強く意識していたからです。

本会のホームページをご覧いただく、そのトップ左側に「同窓会報『うえだ』」の項が立てら

なっています。5月に創刊されました。それは、本会の前身にあたる上田高等学校同窓会関東支部の設立総会開催のときから数えて21年目のことでした。第1面の見出しに「会員の宿願を達成」とあり、会報の発行がどれほど待ち焦がれたものであったかを物語っています。また、その紙面には、総会の開催案内、各期の動静や班OB会の活動報告、母校や故郷の短信、同窓生からの広告記事など、今日まで受け継がれているものが数多くあります。それから年に2回、途切れることなく発行され、早、半世紀を超えます。この間、第55号までがタブロイド判で、第1号が10頁、第20号(記念号)および第24号(母校80周年記念)が12頁、第43号から第55号までが4頁であったことを除けば、8頁建てが続ききました。転機は、1999年に訪れます。ホームページの簡易版が開設される一方で、会報が12頁建てになったのです。しかも、それから

5年でカラー化が果たされ、2009年には20頁建て、その3年後には24頁建てまで登場するに至ります。

会長就任後、上田高等学校同窓会他の地域、支部、さらには、他の高等学校同窓会の役員とお話しするなかで、本会の会報の充実ぶりに驚嘆される声を耳にしました。まさに発行者冥利に尽きるといいますが、会報の意義はもちろん、体裁や頁数で語られるものでもありません。

会報はいうまでもなく、会員同士をつなぎ、母校や郷土との結びつきを確認することができる媒体であって、ときに懐旧の念を抱かせ、ときに心の拠り所にさえなるうるものです。それだけに、その

発行が待ちわびられ、手元に届くや隅々まで読み進められ、そのようにして愛されてはじめて、その存在意義が示されることになりました。

世代が変わり、媒体ツールも格段に変化しています。それでも、組織や団体が存続するかぎり、そこから発信されるものがなくなることはないはずですが、本会もまた然り。会員の皆様におかれては、引き続きご愛読いただきませうようお願い申し上げます。併せて、毎号、ご寄稿いただき、あるいは、その発行を財政的に支えていただいている会員広告主の皆様、なかならず企画・編集にあたる編集委員長をはじめとする関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

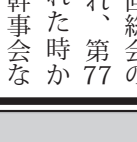
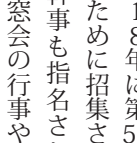
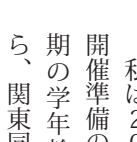
上田高等学校関東同窓会第64回総会のご案内

実行委員長 丸山剛生 (77期)

皆さま、お元気でしょうか？ 第64回総会は令和7年6月28日(土)に如水会館において行われます。

今年の総会は第77期が幹事(第82期が副幹事)となり、実行委員長は丸山剛生Ⅱ写真・上Ⅱが担当することになりました。どうぞよ

ろしくお願いいたします。同期の佐藤一男さん、押金勉さん、片岡拓雄さん、川村卓也さんⅡ写真・2番目から順Ⅱが実行委員長として活動しています。このメンバーは2018年にサッカー班大先輩(第66期)の田口博さん(当時、関東同窓会幹事長)から第59回総



会(2019年開催、第72期が幹事、第77期が副幹事担当)を準備するために招集されました。その頃から佐藤さんが押金さん、片岡さん、丸山を先導し、サッカー班(片岡さんと丸山が所属)とバレーボール班(佐藤さんが所属)のメンバーや、高校時代の同級生の伝手を使って関東近県在住の同期の連絡網を整備しながら、総会当日の運営に協力してもらった仲間を募ってきました。総会の講演会とアトラクションは佐藤さんと押金さんを中心に計画されました。講演会は、中村幸夫さん(第77期、理化学研究所バイオリソース研究センターⅡBRCⅡ細胞材料開発室室長、筑波大学医学医療系教授等歴任、4月から臨床医。専門は血液学)を講師に迎え、細胞培養技術と臨床分野への応用に関する話題を提供いただきます。アトラクションは、須藤英樹さん(第77期、音楽プロデューサー・ギタリスト)と女性ボーカル(小諸市在住の歌手、天音ともさん)の共演によるJPOP演奏会を予定しています。77期が若かりし頃から最近までのJPOPの名曲による心に響くメロディーと感動のパフォーマンスをお楽しみください。私は2018年に第59回総会の開催準備のために招集され、第77期の学年幹事も指名された時から、関東同窓会の行事や幹事会な



どには時々参加するようになり
ました。総会などに参加すると、関
東同窓会の運営に携わっている
方々の情熱と母校に対する愛情を
強く感じます。また、同期と再会
することで若き日の自分を思い起
こすような懐古的な気持ちや、さ
らに世代を超えた連帯感のような

第64回総会副実行委員期のご挨拶と

82期の皆様への呼びかけ

2019年の第58回総会で72
期・77期のお手伝いをしてから6
年がたち、私達82期も副実行委員
期を迎えることになりました。58
回総会には15名が参加、二次会だ
けの参加を含めると20名が集まり
ました。その後の行事ではなかな
かこの人数は上回れませんが、そ
れでもこの「集合体験」をきっかけ
に、たまには同窓会行事に参加し
てみようという同期が増えました。
参加して初めて気づく楽しさも



第64回総会幹事期の皆さん

大都會の中にも仲間がいるとい
う安心感のような気持ちになります。
皆さまも6月28日(土)の第64
回総会には同期の仲間を声をかけ
ながらお集まりいただきますこと
を、実行委員一同心よりお待ちし
ています。

ありました。同窓生はある意味日
常の利害関係を離れた存在なの
で、多分野で活躍する方々と情報
交換でき、他所では得難い気づき
があります。こうした再会の機会
が今後も継続できるよう、64回総
会では、副実行委員期の私達82期
も微力を尽くそうと思えます。
さて82期でまだ関東同窓会行事
に参加したことのない皆さん、も
しくは遠い昔に一度だけといった
皆さんにも、今回の総会は「同窓
会(再)デビュー」の最良の機会
かもしれません。副実行委員期と
して運営側の様子を垣間見るこ
とができますし、何より多くの同期
参加者が見込まれるので孤立のお
それがありません。

私達82期の多くは今年度(60歳
を迎えます。昨今まだ退職には早
いですが、これから10年くらいを
かけていずれば引退していく中
で、上田高校の同窓生同士の繋が

新幹事長候補に金井一正さん (76期)



金井一正さん

2022年から幹事
長を務めてきた平林一
央さん(75期)が今総
会で3年の任期を終え
ます。執行部が後任の
選考を進めた結果、金
井一正さん(76期)が
内諾され、4月21日の
幹事会で承認されまし
た。今総会の承認を得
て、新幹事長に就任す

りはその後の楽しみのひとつにな
るかもしれません。早めに参加を
始めれば、長いこと楽しめます。
なお、今回の総会では、82期の
皆さんに受付や会場設営等の作業
分担任をお願いすることになり、参
加者の事前把握が必要です。ハガ
キでの参加申し込みの他に、QR
コードのアドレスまでメールをい
ただけると幸いです。
皆で少しずつ協力して、よい時
間、思い出を作りましょう。
上田高校関東同窓会
82期代表幹事
重藤知夫、古谷由美子、清水るりこ



る予定です。
これまで2年間の副幹事長時代
は、組織力強化委員として会員の
増強に尽力すると同時に平林幹事
長を補佐して総会の準備、当日運
営を行い第63回総会の成功に貢献
しました。斬新なアトラクショ
ン、同窓生が醸造しているお酒の
提供は記憶に新しいところです。

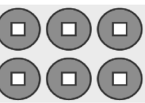
◆金井さんの抱負

幹事長という思いもしなかった
大役へのご指名に当初は大いに困
惑した次第ですが、コロナ禍での
会の舵取りに大変ご苦労された平
林さんの母校愛に敬意を表し、こ
れからは私が精いっぱい母校への
恩返しを行うべく任を務めさせて
いただく所存です。会員の皆様は
は会の益々の隆盛に引き続きのご
協力を賜りたくどうぞ宜しくお願い
致します。

◆プロフィール

上田市天神町育ちで清明小、上
田二中出身。高校と大学(上智・
法)では体操競技に打ち込みイン
ターハイ、インカレ、ロサンゼル
ス五輪予選に出場。長野県の国体
メンバーとしても活躍した。大学
卒業後は日立製作所でIT事業に
従事。現在はITベンチャーの社
外取締役、他数社の顧問を務めて
いる。趣味は体操競技、スキー競
技、ゴルフ。

祝! 第64回総会



77期有志一同

今年是我们が総会実行委員当番期です
77期一致団結して総会・懇親会を成功させましょう!
皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください

裁判のデジタル化が進んでいます。人間の機微に触れる事柄に
ついてこれで良いでしょうか、私の意見です。ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=hrGL3J55gUc>

弁護士 山浦善樹

(63期)

☎ 03-5244-5372

yamax14293@gmail.com

